

【短答式試験を「最高の自分」で迎える方法】

1. ここだけは押さえない！最重要論点一挙公開

- (1) 得点直結系
 - ① 主要四法の罰則
 - ② 実用新案法（実6条の2、12条、14条の2）
 - ③ 不競法2条1項各号と19条
- (2) 効率よく点を稼げる系
 - ① 条約の特則（特184条の3～、実48条の3～、意60条の3～、商68条の2～）
 - ② 主要四法の拒絶理由・無効理由・異議申立理由
 - ③ 国内法ベースとなっているパリ条約とTRIPs協定
（例：パリ5条C、TRIPs19条、商50条）
 - ④ 商標4条
（例：「著名」があるもの、「大臣」があるもの、後発無効になるもの等）
 - ⑤ 商標法の審判の要件効果
 - ⑥ 著作権（著21条から28条）の権利の内容
（例：「公に」があるもの、「公衆に」があるもの等）
 - ⑦ 著作隣接権

2. 本番で全てを出し切る頭と体の調整法

- (1) 勉強面
 - ① 本年度の答練や公開模試、過去問で間違えたものを全て解きなおす。
 - ② 事例問題系は1日1問、必ず解く。
 - ・特許法：29条、30条、29条の2、39条
 - ・意匠法：3条、3条の2、4条、9条
 - ③ 上記「最重要論点」のインプットの最終のツメ
- (2) 健康面
 - ① 本日から毎日、本試験日まで同じ時間に寝て、同じ時間に起きる。
 - ② 最低6時間は睡眠時間を確保する。
 - ③ 生もの等は控える。
 - ④ 食べ慣れない物を食べない。
 - ⑤ 人込みは避ける。
- (3) その他
 - ① 本試験と同じ時間割の生活を1日体験しておく。
 - ② 模試等を自宅受験した方は特に、マスク着用で、本試験体験をしておく。

3. メンタルトレーニング

- (1) 合格した自分を明確にイメージし、気分を盛り上げる。
- (2) 合格大前提での予定を立てる。
- (3) 合格への執着心を持ち続ける。